

7月の衛研検査情報

～トピックス～

平成22年度 薬事検査について

平成22年度は健康福祉局医療安全課の依頼により、「いわゆる健康食品」、「化粧品の試買」及び「健康被害事例の原因究明等」について検査を実施しました。

主な結果 「いわゆる健康食品」及び「化粧品の試買」の検査では、いずれの成分も検出されませんでした。「健康被害事例の原因究明等」の検査では、ニコチン及びヨヒンビンが検出されました。

遺伝子組換え食品の検査

遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会が安全性に問題ないと判断され、承認されたものが国内で流通可能になります。検査は、承認済みのものについては定量検査（食品中に遺伝子組換え体がどのくらい含まれているかを調べる検査）を行います。一方、未承認のものについては定性検査（食品中に遺伝子組換え体が含まれているかを調べる検査）を行います。

主な結果 各区福祉保健センターが収去した計20検体について、遺伝子組換え食品の定量検査と定性検査を実施したところ、違反検体はありませんでした。

平成23年度 医動物・種類同定検査のまとめ（4～6月）

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 平成23年4月から6月の種類同定検査件数は、5件でした。内訳は昆虫類3件（ハエ目・シロアリ目・トビムシ目各1件）、その他2件でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成23年5月は、髄膜炎菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、ポリオ（小児麻痺・急性灰白髄炎）に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は256,370件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。